

日本のCN・GXは今後どこに向かうのか

～不確実な時代に、日本が描く「次の成長」のかたち～



伊藤 剛氏

横島 直彦氏

伊藤 禎則氏

増山 壽一

カーボンニュートラルやGXは、昨今の内外のエネルギー事情や従来の日米安全保障の意義を問い直す指摘もあり、その歩みは必ずしも順風満帆とは言えない状況にあります。こうした状況の中で、日本のカーボンニュートラル、そしてGXは、どこに向かい、どう歩んでいくのか。

本セミナーでは、政策・技術・産業の視点から、日本のCN・GXの現在地と今後の方向性を考えます。

日時 2026年 1月26日(月) 13:00~14:30 (12:30開場予定)

会場 霞山会館「牡丹の間」

千代田区霞が関3-2-1 霞ヶ関コモンゲート西館（霞山会館ビル）37階

定員【会場参加】70名 + Zoom 300名 ※先着順 ※参加無料

申込期限 1月16日（金）12時まで

お申込みはこちらから▶

お申込みフォーム▶ <https://forms.office.com/r/KrY2zHzKtx>



- ◆会場参加は、お席に限りがございますので、定員となった場合は、恐れ入りますがオンラインでのご案内をさせていただきます。（Zoom URLをメールでお知らせいたします）
- ◆複数人での参加をご希望の場合は、必ず1名ずつ申込フォームにてお申込みください。

《第1部》基調挨拶

伊藤 禎則氏 経済産業省 GXグループ長

《第2部》講演・パネルディスカッション

横島 直彦氏 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO） 副理事長

伊藤 剛氏 EX4Energy株式会社 代表取締役社長、U3イノベーションズ合同会社共同代表

モデレーター

増山 壽一

一般社団法人カーボンニュートラル推進協議会 代表理事
京都先端科学大学 特任教授、Office de MASUYAMA 代表

主催：



一般社団法人 カーボンニュートラル推進協議会

Office de
MASUYAMA
オフィス・ドゥ・マスヤマ

— 日本のCN・GXは今後どこに向かうのか —

ご登壇者プロフィール

基調挨拶



いとう さだのり

伊藤 禎則氏 経済産業省 GXグループ長

1994年東京大学法学部卒業後、通商産業省入省。コロンビア大学ロースクール修士、米国N Y州弁護士取得。資源エネルギー庁において、電力・ガス市場制度の企画・整備を担当し、電力市場改革をはじめとするエネルギー政策の中核を担う。2025年7月よりGXグループ長（現職）。カーボンニュートラル・グリーン転換フォーメーション政策全般を統括する。岸田文雄内閣総理大臣秘書官、資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部長といった要職を歴任。現在は、エネルギー政策とGX政策を横断し、日本の産業変革を推進している。

講演・パネリスト



よこしま なおひこ

横島 直彦氏 国立研究開発法人
新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）副理事長

1994年東京大学法学部卒業後、通商産業省入省。米国ニューヨーク大学ロースクール修士課程修了、コロンビア大学東アジア研究所客員研究員。経済産業省および農林水産省において、エネルギー、地域経済、中小企業政策、食料・製造産業政策など幅広い分野の制度企画・政策運営に携わる。資源エネルギー庁では電力・ガス事業部においてガス市場整備を担当し、エネルギー市場制度の構築に関与。中小企業庁経営支援部長を経て、2023年10月より国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）副理事長（現職）。産業政策と技術開発を結びつけ、グリーン転換フォーメーションとカーボンニュートラル実現に向けた取り組みを推進している。



いとう たけし

伊藤 剛氏 EX4Energy株式会社 代表取締役社長
U3イノベーションズ合同会社 共同代表

東京大学卒業後、榊野村総合研究所に入社し、電力・ガス業界や不動産・住宅産業を対象とするコンサルティング業務に従事する。2012年10月、アクセンチュア㈱に移籍し、戦略コンサルティング本部の電力・ガス業界を対象とするコンサルティングチームを立ち上げる。2018年10月、「エネルギー産業の2050年 Utility3.0へのゲームチェンジ」の共著者である竹内純子氏と共同でU3イノベーションズ合同会社を設立する。

2022年6月、エネルギー産業を対象とした通信基盤であるPublic Power HUBを運営するEX4Energy株式会社を設立し、代表取締役に就任し、現在に至る。

おもな著作（共著を含む）「進化する電力システム」（東洋経済新報社、2012年8月1日）

「エネルギー産業の2050年 Utility3.0へのゲームチェンジ」（日本経済新聞出版、2017年9月1日）

「エネルギー産業2030への戦略 Utility3.0を実装する」（日本経済新聞出版、2021年11月20日）

モデレーター



ますやま としかず

増山 寿一 一般社団法人カーボンニュートラル推進協議会 代表理事
京都先端科学大学 特任教授、Office de MASUYAMA 代表

1985年東京大学法学部卒業後、通商産業省入省。資源エネルギー庁・省エネルギー・新エネルギー政策課長、JOGMEC（独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構）総務部長などのポストを経て、北海道経済産業局長、独立行政法人中小企業基盤整備機構 筆頭理事、環境省特別参与など歴任。

現在は、政策・再生エネルギーコンサルタントとして、IT、エネルギー関係企業及び、上場を目指すベンチャー企業などへの経営指導をするほか、地方創生・地域振興の事業促進を手掛け、国内外のクライアントの課題解決支援。多くの元気な企業・団体の顧問を務める。2021年より（一社）カーボンニュートラル推進協議会 代表理事。

主催：



一般社団法人 カーボンニュートラル推進協議会

Office de
MASUYAMA
オフィス・ドゥ・マスマ